

TOPICS

セミナー内容とスケジュール

セミナー日時

名古屋セミナー DAY 1 8/31(土) 12:00～19:00
DAY 2 9/1(日) 09:00～17:00

博多セミナー DAY 1 9/3(火) 12:00～19:00
DAY 2 9/4(水) 09:00～17:00

東京セミナー DAY 1 9/6(金) 12:00～19:00
DAY 2 9/7(土) 10:00～18:00
DAY 3 9/8(日) 09:00～17:00

札幌ビデオセミナー 開催予定 日程調整中

セミナーは全会場2日日程となります。
東京会場では、第3日目にプラスワンセミナーが設定されています。
札幌ビデオセミナーのトピックスは東京会場と同じです。

セミナー内容

※講義内容は進行状況で前後する場合がありますことなどをご承知おき下さい。

DAY1 名古屋・博多・東京会場

●慢性腎疾患の診断と病期分類－最新概念。

現在利用可能な検査やIRISのCKD病期分類法を使用した腎疾患の早期発見について述べる。

●CKDでの結果を最適化：ペットと飼主の管理

慢性腎疾患の患者を、飼主に目標や治療法に関する決定に参画させることで、飼主の協力度を高め、より良い患者の看護を行なえる長期計画を策定し、患者の日常的な追跡のモニタリングに関わる病院看護師を利用したチームアプローチを使うことで、より効果的に管理し得る方法。

●CKDでの結果を最適化：より長く、より幸せな生活。

食餌やリン管理、カルシトリオール療法、蛋白尿と高血圧の管理など、慢性腎疾患の進行を変更させる様々な治療法について力点を置く。

●CKDでの結果を最適化：尿毒症の対症療法。

本講演では、慢性腎疾患のある犬や猫の管理に使用される様々な対症療法と、様々な治療の形態を支持する根拠について概説する。

DAY2 名古屋・博多・東京会場

●蛋白尿：何を意味するかの判断。

蛋白尿の様々な原因と、蛋白尿の臨床検査所見の解釈の仕方について概説する。

●腎生検。

腎生検の適用と危険性について概説し、電子顕微鏡や、光学顕微鏡、免疫蛍光顕微鏡を使った評価に対する現在の腎生検採材の方法を説明する。

●蛋白尿の治療：いつ、なぜ、そしてどのように。

レニン - アンギオテンシン - アルドステロン系の管理と蛋白尿の標準的治療法に重点を置いた、犬や猫でよく見られる糸球体疾患の治療に対する最新の推奨について述べる。

●蛋白尿の治療：いつ、なぜ、そしてどのように。

腎生検および免疫調節療法の役割に重点を置いた、よく見られる糸球体疾患の治療に対する最先端の推奨について述べる。

DAY3 東京会場

●急性腎疾患：何をすべきか？

- 1) 急性と慢性の腎疾患の鑑別法
- 2) 急性尿毒症の治療法策定に必須の治療優先順位
- 3) 急性腎傷害に対する治療計画の作成
- 4) 急性腎疾患での予後

●腎臓患者での輸液療法の最新概念。

腎臓患者は、経過に悪い影響を与える不適切な治療法を受けることが多い。本講演では、様々な形態の腎疾患のある患者での輸液療法計画を作成する上で行なうべき主要な判断の選択肢や、長所/短所について概説する。

●尿細管性腎疾患：どうやって認識できるか？

原発性腎尿細管疾患は先天性または後天性腎疾患によって起こることがある。こういった疾患は、近年頻度の増加が認められている。腎尿細管疾患の認識と、腎尿細管疾患の原因の探索に対するアプローチが本講演の目的である。

●低ナトリウム血症と高ナトリウム血症：誤解されることが多い。

塩分と水分の平衡の生理学を概説し、いかにナトリウム濃度の異常を臨床的に理解し、効果的に管理や予防することができるかについて述べる。

※DAY3は、プラスワンセミナーです。(東京会場のみを設定)です。

世界的な腎臓病スペシャリストによる
腎臓病に特化したスペシャルなセミナーです。
「腎臓病のすべて」をしっかりと学べます。
この機会をお見逃しなく！

SPEAKER

講師のご紹介

講師のプロフィール

David J. Polzin DVM, PhD, DACVIM
Dr.デービッドJ.ポルツィンはイリノイ大学獣医学部を1975年に卒業、1976年にジョージア大学のインターンを修了し、1981年にはミネソタ大学での小動物内科学のレジデントと大学院過程を修了。1981年に獣医内科学専門医の認定を受け、PhDも授与されている。現在、ミネソタ大学獣医学部の教授であり、ミネソタ大学動物医療センターの小動物内科部長も務める。また、WSAVAの腎臓病理学研究班の共同代表者を務めており、IRIS(国際獣医腎臓病研究グループ)の理事の1人でもある。Nephrology and Urology of Small Animalsおよび多くの科学出版物や書籍の中の章の共同執筆者であり、世界中で獣医師に向けた講演を頻繁に行なっている。

EXPENSES

受講料

本セミナー

●受講料●

①病院単位申込み……………A.基本料金 + B.受講料金

●病院会員の病院スタッフ(院長、DVM、AHT)が、どこの会場に何人でもご参加できます。事前に、NAHA事務局にスタッフ名の登録を済ませてください。

A.基本料金

3日間コース(東京・名古屋・博多のうち2ヶ所以上か、東京のみの場合) 75,000円

2日間コース(名古屋、博多の2ヶ所か、いずれか1ヶ所の場合) 50,000円

B.受講料金

上記基本料金のほか、各コース、獣医師1人あたり、1日につき1,000円加算となります。

参加例) ○○太朗	東京	1日目	2日目	3日目	加算額	1,000円×3日間	3,000円
□□二郎	名古屋	1日目	2日目		加算額	1,000円×2日間	2,000円
◆◆花子	博多	1日目			加算額	1,000円×1日間	1,000円
						追加料金	6,000円
						基本料金	75,000円
						合計受講料金額	81,000円

②個人申込み……………1日の受講料：20,000円

●院長を含めすべてのスタッフが対象です。

③学生……………1日の受講料：2,000円

●獣医学部生および無収入の獣医大学院生が対象です。研修生、研究生などは対象とはなりません。

④シニア会員・教職員・招待者……………無料

⑤非会員……………1日の受講料：30,000円 (名古屋を除く)

ビデオセミナー

今回は札幌で開催されます。事前登録が必要です。		
セ ビ デ オ	◆受講料	
	会 員	3日間収録分：15,000円
	非 会 員	3日間収録分：25,000円

ハンドアウト

ハンドアウト料金(会場価格) 1冊 5,000円
ハンドアウトは、参加者全員に購入していただきます。
受講料とともに事前にお振込をお願いします。

懇親会

セミナー第1日目の終了後には、講師を交えて懇親会を毎回各会場で開催しております。どなたでも参加できますので、是非この機会をご利用下さい。